

海辺

2019年2月28日(木)、天気晴れ。到着して間もないこの時期、北方の地にしては寒さを感じない。この日も、気温は10度台。宿舎から出て黄河路まで降りると、その西よりに馬蘭スクエアと呼ぶ繁華街が直ぐにある。そこに大連地下鉄2号線の駅。また東へ足を伸ばすと、遼師大と呼ぶ大学名を冠した同じく2号線の駅がある。今回は24時間有効のカードを買ってぴかぴかの地下鉄に乗り、遼師大から乗車しらずは都心へ向かう。

今日の目的は、こちらの銀行に口座を設けること。その手続きの相談で高層ビル内の日本領事館に寄るが、昼時で対応不可。地下鉄を乗り継いで大連駅から程遠くない友好広場駅近くの「ハオ中国語アカデミー」という留学エージェントの事務所に寄る。ここで口座開設の具体的な方法を聞くことができた。その足で、地下鉄駅では一駅分歩き、中山広場の中国銀行へ。広場に面するクラシックな建物は、戦前の旧横浜正金銀行大連支店のそれだった。そして中国の経済成長に合せるように、数年前にはなかった高層の「中銀大廈」が背後に聳えていた。外国人の口座開設の旨を話すと、案内人はそのまま奥の大廈のフロアに案内し、私はそこで書類を書かされた。しかし、日本のマイナンバーが必要だと言う。そこで日本に連絡するため、出直すことになった。

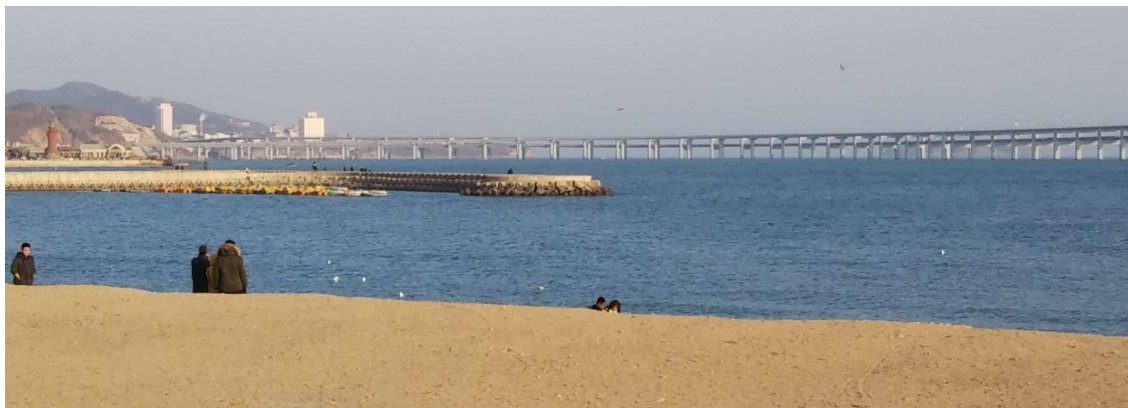


大連の象徴「中山広場」に面する中国銀行大連支店。背後に中銀大廈。

せつかく都心に出たからには、寄り道しないわけには行かない。この時期、街の様子を知ろうとして歩き回った。この日は、2号線の終点を目ざし、広場の直下にある中山広場駅から東の端、東海駅へ。ところが、海と名がつくのに、

地上に出ると、建設中の高層のマンションが立ち並び、人の気配も感じないニュータウンに来てしまった。海はどこにも見えない。諦めて、地下鉄で取って返し、都心西側の「西安路」駅で1号線に乗り換え、南方向へ。「星海広場」駅の次の医大二院前(大連医科大学第二病院の意?)駅で下車。初めて歩く所だが、東側に海がある筈だった。数分でカモメが羽を休める人工の入り江と、相對して水族館も立っている港に着く。のどかな景色に癒される。見ると海岸沿いの道は北側の星海広場方向へ続いているよう。そこでのんびりと海沿いを歩く。この後2 km近く延々と海沿いの砂浜が続いた。夏は海水浴客が大勢来るのだろう。美しい砂浜だった。散歩客は若いアベックから家族連れまで様々。風も穏やかで、この日の散歩は期待通りだった。

大連を留学適地と考えた時にその利点としてあったのは、市街地が遼東半島の先端近くにあり、海の影響を受け気候も穏やかだという点だった。長い留学生活で感情の浮き沈みもあるかもしれないが、そんな時、気晴らしに海を眺めることができるのも魅力だった。星海広場はこの地では有名な観光地だが、そこに隣接する星海公園からこの水族館前、そして広場へと続く海岸線は、留学中何度か足を運ぶことになった。潮の香を受けながら、良い気分転換になった。この辺りは、言わば大連の「湘南」と言った趣きなのか、海岸沿いにそれを見おろすマンション群が続いていた。



星海公園近くの砂浜。海の沖合に星海跨海橋の高速道路が横切っている。

たどりついた星海広場は、聞いていた通り広大。ここまで来て歩き疲れた。帰ろうと地下鉄の駅を人に尋ねると、私の中国語では通じず、勘を頼りに駅の入り口を見つける。ここから一旦乗換駅の「西安路」に向かい下車して、この大連一の繁華街を散策。それから宿舎へと帰還した。